



2019年11月19日

各 位

会 社 名 日本農薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長 友井 洋介  
(コード：4997、東証第1部)  
問合せ先 管理本部総務・法務部長 永井 統尋  
(TEL. 03-6361-1400)

### (訂正)「2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2019年11月12日に開示いたしました「2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

#### 記

#### 1. 訂正の理由

「2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後、記載内容に一部誤植があったことが判明したため、これを訂正するものであります。

なお、本訂正による連結経営成績への影響はございません。

#### 2. 訂正の内容

##### 【添付資料P.2】

##### 1. 経営成績等の概況

##### (1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

〔農薬事業〕2段落目

##### <訂正前>

海外農薬販売では、ブラジル市場の需要回復を受け、Sipcam Nichino Brasil S.A.の売上高が前期を上回りました。一方、アジアの主要販売国である中国では病虫害の小発生や流通在庫の影響などから販売が伸び悩みました。さらに、モンスーンの到来が遅れたインドは作付けの遅れなどから農薬需要が低迷し、Nichino India Pvt.Ltd.の売上高が伸び悩みました。これらの結果、海外販売全体の売上高は前期を下回りました。なお、園芸用殺虫剤「コルト」は、昨年11月に米国食用登録を取得し、Nichino America, Inc.より本分野での販売を開始しました。

##### <訂正後>

海外農薬販売では、ブラジル市場の需要回復を受け、Sipcam Nichino Brasil S.A.の売上高が前期を上回りました。一方、アジアの主要販売国である中国では病虫害の小発生や流通在庫の影響などから販売が伸び悩みました。さらに、モンスーンの到来が遅れたインドは作付けの遅れなどから農薬需要が低迷し、Nichino India Pvt.Ltd.の売上高が伸び悩みました。これらの結果、海外販売全体の売上高は前期を上回りました。なお、園芸用殺虫剤「コルト」は、昨年11月に米国食用登録を取得し、Nichino America, Inc.より本分野での販売を開始しました。

##### 【添付資料P.19】

##### 4. その他

##### <訂正前>

役員の変動に関する事項につきましては、本日公表いたしました「機構改革並びに人事異動に関するお知らせ」をご参照ください。

##### <訂正後>

該当事項はありません。

以上